

第8回防衛省ハラスメント防止対策有識者会議議事概要等

1 日 時

令和5年8月18日（金）0930～1000

2 場 所

第1庁議室

3 出席者

座長：只木座長

委員：川崎委員、菅原委員、関谷委員、田中委員、中村委員

官側：人事教育局長、政策立案総括審議官、服務管理官、陸幕人事教育部長、海幕人事教育部長、空幕人事教育部補任課長

4 議事概要

- 「ハラスメント防止対策の抜本的見直しに関する提言」提出
- 「ハラスメント防止対策の抜本的見直しに関する提言」に関して、各委員から下記のとおり発言があった。

【「ハラスメント防止対策の抜本的見直しに関する提言」について】

- 自衛隊は社会一般とは異なる特殊な組織であるということを理由に、社会の流れを無視することはできない。自衛隊の組織を活かす方向で変わっていくために、その足掛かりになる提言を作成したという認識を持っている。
提言の事項はかなり幅広にあり、対応に時間を有することもあるかと思うが、より良い環境を作ってほしい。
- ハラスメントは精神の健康を蝕むものであり、国民の命を預かる自衛隊においては、ゼロ・トレランスの姿勢で取り組んでほしい。
- 組織が長く続くためには、決して変えてはいけないものと変え続けなければいけないものを決めなければいけない。防衛省・自衛隊で言うならば、国を必ず守るということは決して変えてはいけないことであるが、一方で変え続けられないといけないものというのが、今回のハラスメント対策である。これだけ大きな組織の意識改革を行うことは、非常に困難な作業であると考えます。いかに全隊員が自分事として捉えるかに懸っていると思う。
- 提言作成過程のヒアリングをしていく中で、防衛省・自衛隊には長い歴史があり、だからこそ、今働いている人たちと考え方や価値観が合致していないものがある。そこにハラスメントの背景があるのではないかと感じた。

- ハラスメントを決して加害者と被害者の問題で終わらせず、組織全体で責任を背負って初めてハラスメントがない組織が実現するものだと思っている。時間の流れによって変わっていく人の価値観と呼応させながら、常にブラッシュアップさせていく取組みを継続してほしい。
- 本委員会は、自衛隊にて発生したハラスメント事案を契機として設けられたものであり、本日ここにハラスメント防止に向けて、それに寄与すべく提言を提出する。
ハラスメントは、人間の基本的権利を侵害する行為であるとの基本的考えのもと、防衛省・自衛隊においては、これを真摯に受け止め、意識の改革に努め、速やかな対応を取られることを委員一同心から希望する。
- ハラスメントは、隊員相互間の信頼関係を壊し、精強な自衛隊を破壊するものであると認識している。今回の提言を受け、ハラスメントを一切許容しない組織作りに向けしっかりと対応を行っていく。

(以 上)